

23rd Annual Meeting of the Japan Endocrine Pathology Society



第23回 日本臨床内分泌病理学会学術総会

「内分泌病理のここが面白い」

プログラム・抄録集



2019年 10月 4日 金・5日 土

会場 三鷹産業プラザ

会長 菅間 博 (杏林大学医学部病理学)

副会長 平野 浩一 (杏林大学医学部甲状腺外科学)

三鷹・吉祥寺のまち歩きスポット

① 井の頭恩賜公園、井の頭自然文化園

武蔵野市と三鷹市にまたがる広大な（43万平方メートル）公園。井の頭池に雑木林、スポーツ施設、自然文化園（動物園・水生物園）で構成。池ではボートも楽しめる。10:00～17:50

自然文化園（動物園・水生物園）は大人400円

65歳以上200円

月曜休園 JR吉祥寺駅から徒歩5分



② 三鷹の森ジブリ美術館

ジブリの宮崎駿監督の考えた美術館。図書閲覧室やショップ、カフェも併設。

●入場は予約制。毎月10日10:00から翌1ヶ月分をローソンのみで販売。

●大人・大学生1000円、火曜休館。

●詳しくは、<http://www.ghibli-museum.jp/>

●三鷹市下連雀1-1-83

●三鷹駅から徒歩15分、コミュニティバスもあり

③ 禅林寺

黄檗宗大本山万福寺の直末寺。

境内に森鷗外、太宰治の墓がある。

●三鷹市下連雀4-18-20

●三鷹駅南口から徒歩10分

④ 太宰治文学サロン

太宰治の直筆原稿、初版本など展示。

●10:00～17:30 月曜休館。無料。

●三鷹市下連雀3-16-14グランジアルダン三鷹1F

●三鷹駅南口から徒歩5分



⑤ 三鷹市山本有三記念館

作家・山本有三が10年間家族と暮らした家を、「記念館」とし開設。大正末期に建てられた本格的な洋風建築を、作家・山本有三が購入し、この場所で、「路傍の石」や「米百俵」などの名作が生まれた。

●9:30～17:00 月曜休館。入館料300円

●三鷹市下連雀2-12-27

●三鷹駅南口から徒歩12分

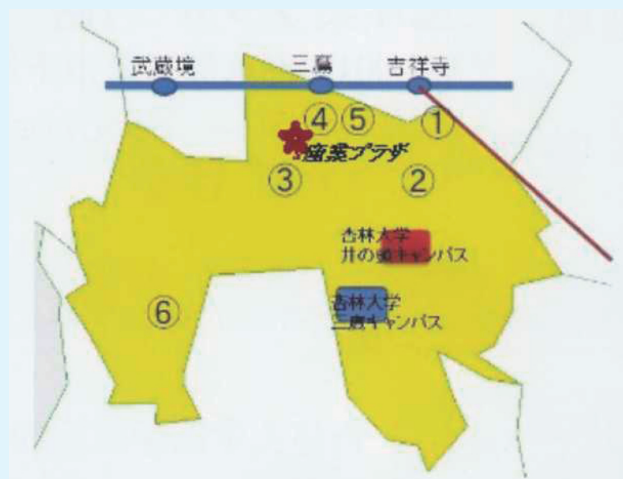
⑥ 自然科学研究機構国立天文台 三鷹キャンパス

国立天文台の本部。

第一赤道儀室、天文台歴史館、子午儀資料館など。

●10:00～17:00 毎日自由見学、無料。

●三鷹市大沢2-21-1 | 武蔵境駅からバス15分



23rd Annual Meeting of the Japan Endocrine Pathology Society



第23回 日本臨床内分泌病理学会学術総会

「内分泌病理のここが面白い」

プログラム・抄録集

2019年10月4日^金・5日^土 会場 三鷹産業プラザ

会長 菅間 博 (杏林大学医学部病理学)

副会長 平野 浩一 (杏林大学医学部甲状腺外科学)

日本臨床内分泌病理学会
研究賞(最優秀賞、奨励賞)選考委員

委員長 菅間 博 (杏林大学)

委 員 吉本 勝彦 (徳島大学)

委 員 佐藤 文俊 (東北大学)

委 員 矢澤 卓也 (獨協医科大学)

ご 挨 拶

第23回日本臨床内分泌病理学会学術総会

会長 菅間 博

杏林大学病理学教授



第23回日本臨床内分泌病理学会学術総会を、令和元年10月4日(金)、5日(土)に、杏林大学のあ
る三鷹市にて開催させていただきます。本学会は内分泌学を専門とする病理医の研究会として発足し、
平成の時代に発展し内分泌病理学に関わる臨床医ならびに基礎研究者が広く参加する学会となりま
した。平成から令和へと時代が移行する年に、本学術総会を担当させて頂くことを大変光栄に存じ
ます。

この節目の年に、改めて内分泌病理学の魅力を見つめ直す機会となればと考え、本学術総会のテー
マを「内分泌病理のここが面白い」といたしました。下垂体、甲状腺、副腎、神経内分泌の病理
学の魅力を見つめ直すワークショップを、其々の病理専門医に企画して頂きました。特別講演には、
「2017年イグ・ノーベル賞」の上村佳孝先生に、昆虫学の魅力をお話し頂きます。シンポジウムと
して、令和の時代に当然となる内分泌疾患の遺伝子診断、次世代シーケンサー（NGS）の話題を
提供頂きます。また、日常の内分泌臨床における疑問に病理専門医が直接答えるセッションとして、
CPC臨床・病理症例検討会を設けました。一般演題の発表者を対象として、日本臨床内分泌病理
学会研究賞（最優秀賞と奨励賞）に加えて、本学会独自のJEPS 23若手研究賞を選考いたします。奮っ
てご応募下さい。

三鷹・吉祥寺は、東京の住みたい街ランキングのトップで、多摩川上水沿いに沢山のアトラクショ
ンスポットがあります。武蔵野の面影が残る井の頭恩賜公園と自然文化園、アニメの聖地の三鷹の
森ジブリ美術館、近代の文豪、森鷗外、太宰治が眠る禅林寺、路傍の石がある山本有三記念館、最
先端観測施設を擁する国立天文台等々、学会とともに、秋の武蔵野を楽しんでいただければと考え
ます。

本学術総会が参加された全ての方にとって有意義な機会となり、令和の時代の内分泌病理学の発
展に寄与することを願っています。多くの方々のご参加をお待ちしています。

第23回 日本臨床内分泌病理学会 学術総会 日程表

2019年10月4日(金)

2019年10月5日(土)

	第1会場(703~705)	第2会場(701)	第1会場(703~705)	第2会場(701)
8:00				
9:00				
10:00	10:00~10:10 開会式 10:10~11:00 一般演題 副腎(A1-A4) 座長:中村保宏	10:10~11:00 ワークショップ神経内分泌 神経内分泌の病理のここが面白い 座長:屋代隆 発注:森本充 病理:矢澤卓也	9:10~10:00 一般演題 甲状腺・他(T1-T4) 座長:千葉知宏	9:10~10:10 ワークショップ下垂体 下垂体の病理のここが面白い 座長:井下尚子 細胞分化:須賀英隆/細胞老化:相田順子
11:00	11:00~12:00 ワークショップ副腎 副腎疾患の病理診断の minimum requirements 内科:方波見卓行 外科:岡本高広 病理:笹野公伸	11:00~12:00 一般演題 神経内分泌(N1-N5) 座長:戸田修二	10:00~11:20 ワークショップ甲状腺 甲状腺の病理のここが面白い 座長:中島正洋 病理:覚道健一/黒澤大和 基礎:光武範史 臨床:佐藤伸也	10:10~11:15 一般演題 間脳下垂体(P1-P5) 座長:西岡宏
12:00	12:00~13:00 シンポジウム 遺伝子検査時代の内分泌疾患 座長:平野浩一 千葉知宏 鳴海寛志		11:20~11:50 Updateセミナー2 座長:成瀬光栄 今泉美佳	
13:00	13:00~13:30 評議員会・総会		11:50~12:50 特別講演 動物の性のここがオモシロい 座長:加藤良平 上村佳孝(イグ・ノーベル賞2017年受賞)	
14:00	13:30~13:50 佐野賞受賞講演 座長:菅間博 鈴木貴 13:50~14:10 亀谷賞受賞講演 座長:松野彰 梶原博 14:10~14:40 Updateセミナー1 座長:近藤哲夫 石井順 鈴木敦詞		12:50 研究賞表彰式・閉会式 13:00 三鷹市長挨拶	
15:00	14:40~16:20 CPC 座長:田辺晶代、横田紀子 1 下垂体:山下美保、井下尚子 2 甲状腺:岡本高広、日野るみ 3 副腎疾患:立木美香、山崎有人			
16:00		16:20~17:25 YIA対象研究(Y1-Y5) 座長:藤原正親		
17:00	17:30~18:30 YIA表彰式・会員懇親会			
18:00				
19:00				

I. 参加者へのご案内

1. 参加受付

三鷹産業プラザ 7階ロビー

第1日目 10月4日(金) 9時30分～ 第2日目 10月5日(土) 9時00分～

2. 学会参加費：7,000円

学部学生は無料です(学生証をご提示下さい)。

学会参加費をご納入の上、参加証をお受け取り下さい。

参加証は、会場内では必ずお付けいただきますよう、お願い致します。

3. プログラム・抄録集

当日、会場でも1,500円で別途販売致します。

4. 入会手続き

第23回日本臨床内分泌病理学会学術総会にてご発表いただく筆頭演者の方は、日本臨床内分泌病理学会の会員である必要があります。一般演題発表者で学会に未入会の方は、入会手続きをお済ませ下さい(年会費4,000円)。新規入会に関する手続きは、日本臨床内分泌病理学会のホームページ(<http://www.nacos.com/jeps/admission.html>)の入会案内をご確認下さい。なお、学術総会当日に受付でも入会手続きが可能です。

5. 専門医クレジット

学術総会参加者は下記の専門医単位を取得できます。

日本病理学会 専門医取得単位数

参加者 5単位、発表者(=演者)さらに2単位が加算

日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医取得単位数

参加者 5単位、発表者(=演者)さらに2単位が加算

日本臨床細胞学会細胞検査

開催日	JSC 単位	IAC 単位	単位備考
2019年10月4日	10	8	
2019年10月5日	5	4	

日本臨床内分泌病理学会学術総会の会場では、専門医単位登録の受付は行いませんので、その点ご承知おき下さい。

6. 会員懇親会

10月4日(金)の「YIA対象研究」セッション終了後、第1会場にて「YIA表彰式・会員懇親会」を開催致します(軽食を提供予定です)。

7. 昼食

10月4日(金)のシンポジウム「遺伝子検査時代の内分泌疾患」の時間帯には、昼食用のお弁当をご用意致します。10月5日(土)は、昼食のご用意はございませんのでご了承下さい。

8. クローク

クロークの設置はございません。各講演会場内に、荷物置き用机をご用意致しますので、各自の管理にてご利用下さい。

9. お願い

会場内での携帯電話のご使用につきましては、電源をオフにさせていただくか、マナーモードに設定の上、通話をご遠慮下さい。

10. 宿泊

各自ご予約下さい。

会場近くのホテルは、以下のホテルとなります。

吉祥寺第一ホテル：<https://www.hankyu-hotel.com/hotel/dh/kichijojidh/>

吉祥寺東急REIホテル：<https://www.tokyuhotels.co.jp/kichijoji-r/index.html>

Ⅱ．座長・演者へのご案内

1. 座長へのご案内

ご担当セッションの開始15分前までに次座長席でお待ち下さい。
進行は時間厳守でお願い致します。

2. 質問者へのご案内

質問、追加などのご発言をされる方は、前もってフロアマイクの前にお立ち下さい。

3. 演者へのご案内

(1) ご発表時間

一般演題(口演)	ご発表9分	質疑応答3分
YIA対象研究	ご発表9分	質疑応答3分

(2) データ受付時間

- ・ご講演の30分前までに、会場内前方の「PC技師席」にて、ご発表データ受付をお願い致します。
- ・ご発表データはUSBフラッシュメモリにてご持参下さい(CD-R等は受付できませんのでご了承下さい)。

(3) ご講演・ご発表について

- ・ご講演はPCプレゼンテーションのみとなります。
- ・ご講演中のスライド操作につきましては、講演台上のワイヤレスマウスにて、ご自身でお願い致します。
- ・事務局側でご用意致しますPCの環境は、以下の通りです。
OS：Windows 10
ソフト：PowerPoint 2019
解像度：1920×1080（スライドサイズは16：9を推奨致します）
映像出力端子形状：HDMI（タイプA）
- ・ご発表データを持参される方は、USBフラッシュメモリにてご持参下さい(CD-R等は受付できませんのでご了承下さい)。
- ・動画およびMacintoshを使用される場合は、必ずご自身のパソコンをお持ち込み下さい。
- ・お預かり致しましたご発表データは、学術総会終了後に破棄致します。

(4) PCお持込みについて

- ・PCお持込みの場合につきましても、ご講演の30分前までに、会場内前方の「PC技師席」にて、ご発表データの試写をお願い致します。
- ・お持込みPCを接続する映像出力端子形状は、HDMIコネクターとなります。パソコンの出力端子の形状をよくご確認の上、上記以外の場合は、変換アダプターも併せてご持参下さい。
- ・外部ディスプレイ出力が可能であることを必ず事前にご確認の上、お持込み下さい。
- ・バッテリー切れを防ぐため、必ず電源アダプターもご持参下さい。
- ・スクリーンセーバー、省電力モードはOFFの状態でお持込み下さい。
- ・パソコンを再起動させる場合もございますので、パスワード設定は解除しておいて下さい。

4. 利益相反(COI)について

各ご講演の研究発表に際し、必要に応じて利益相反(COI)の開示をお願い致します。詳細は、日本内分泌学会のHP(利益相反について)をご参照下さい。

http://www.j-endo.jp/modules/about/index.php?content_id=8

http://www.j-endo.jp/uploads/files/about/coi/coi_shisin-details.pdf

下記のスライド例にてCOI開示(様式1-A)
学術講演会口頭発表時、申告すべきCOI状態(過去3年間)がない時

COI 開示

発表者名: 東京一郎、京都次郎、大阪三郎、◎福岡史郎(◎代表者)

演題発表内容に関連し、発表者らに開示すべき
COI 関係にある企業などはありません。

下記のスライド例にてCOI開示(様式1-A)
学術講演会口頭発表時、申告すべきCOI状態(過去3年間)がある時

COI 開示

発表者名: 東京一郎、京都次郎、大阪三郎、◎福岡史郎(◎代表者)

演題発表内容に関連し、筆頭および共同発表者が開示すべきCOI 関係にある企業などとして、

- ①役員・顧問:
- ②株保有・利益:
- ③特許使用料:
- ④講演料:
- ⑤原稿料:
- ⑥治験・受託研究・共同研究費:
- ⑦奨学寄付金:
- ⑧寄付講座所属:
- ⑨贈答品などの報酬:

(記載例)
発表者全員、過去3年間を一括して
講演料: 平安製薬、縄文製薬
原稿料: 平安製薬
奨学寄付金: 鎌倉製薬、室町製薬

↑ 開示すべき内容が過去3年間にある項目のみ記載

5. 研究賞について

内分泌病理学の研究を奨励する目的で、研究賞(日本臨床内分泌病理学会最優秀賞Distinguished Investigator Award of Japan Pathology Societyおよび日本臨床内分泌病理学会奨励賞JEPS Investigator Award)を授与致します。年次学術総会において演題発表を行う日本臨床内分泌病理学会の会員で、当該年度末で満40歳未満の研究者が対象です。対象の方は、学術総会第2日目の10月5日(土)12時50分から研究賞授賞式を開催致しますので、第1会場にお集まり下さい。

6. 学術総会事務局

第23回日本臨床内分泌病理学会学術総会 事務局

〒181-8611 東京都三鷹市新川6-20-2

杏林大学医学部 病理学教室

TEL: 0422-47-5511 FAX: 0422-40-7093

E-mail: jeps23@ks.kyorin-u.ac.jp

会場のご案内

三鷹産業プラザ

東京都三鷹市下連雀3-38-4

TEL：0422-40-9911 FAX：0422-40-9750

E-mail info@mitaka.ne.jp

URL <https://www.mitaka.ne.jp/plaza/>

有料駐輪場・駐車場あり/オートバイ駐車不可

■電車をご利用の場合

JR中央線・総武線 三鷹駅南口より徒歩約7分

中央通り3つ目(三鷹産業プラザ東)の信号を右折

■バスをご利用の場合

バス停法専寺前下車 徒歩1分

JR三鷹駅より(バス停1つ目 2番～7番・一部の路線は法専寺前を通過しませんのでご注意ください)

京王線調布駅・仙川駅より(どちらも三鷹駅行き)

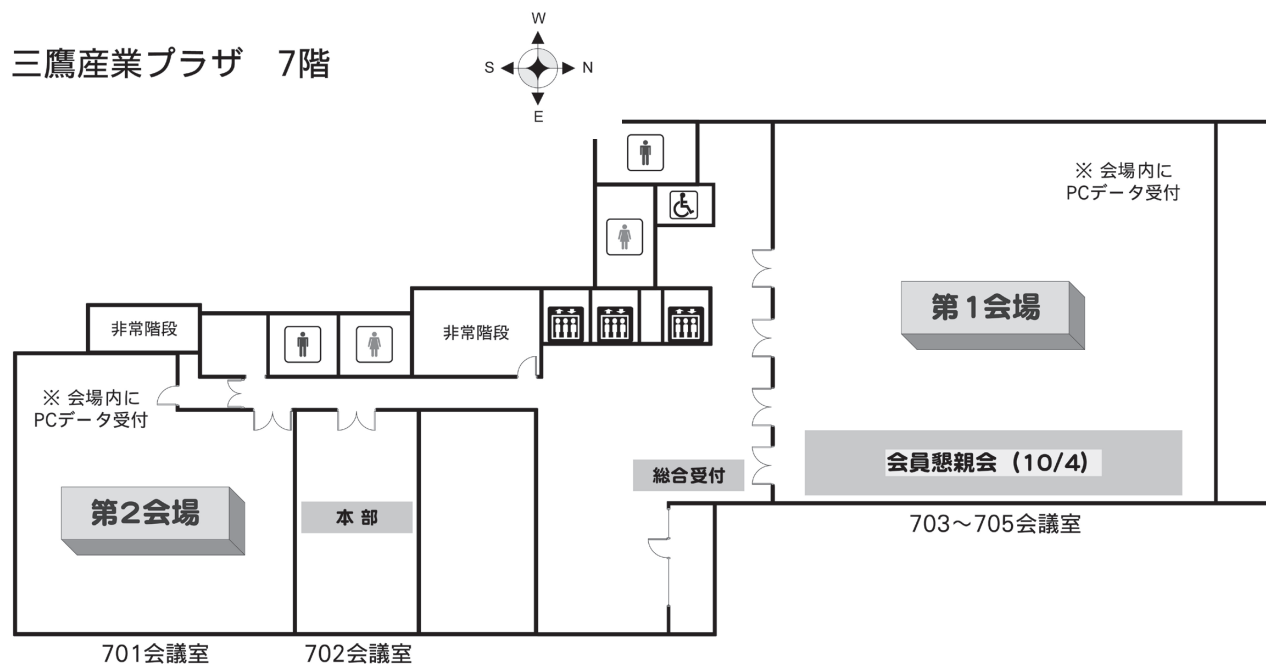
■車をご利用の場合

中央高速調布ICを利用 三鷹通りに入りJR三鷹駅方面へ北上 調布ICより約7km (三鷹産業プラザ駐車場 30分200円・高さ制限1.55mまで)



会場案内図

三鷹産業プラザ 7階



座長一覧表

第一日目 10月4日(金)

時刻	セッション	座長	所 属
〈第 1 会場〉			
10：10 ～ 11：00	一般演題 副腎	中村保宏	東北医科薬科大学病理学
11：00 ～ 12：00	ワークショップ副腎	笹野公伸	東北大学大学院医学系研究科病理診断学
12：00 ～ 13：00	シンポジウム	平野浩一	杏林大学医学部甲状腺外科学
13：30 ～ 13：50	佐野賞受賞講演	菅間博	杏林大学医学部病理学
13：50 ～ 14：10	亀谷賞受賞講演	松野彰	帝京大学医学部脳神経外科学
14：10 ～ 14：40	update セミナー1	近藤哲夫	山梨大学医学部人体病理学
14：40 ～ 16：20	CPC	田辺晶代	国立国際医療研究センター病院糖尿病内分泌代謝科
		槇田紀子	東京大学医学部附属病院腎臓・内分泌内科
〈第 2 会場〉			
10：10 ～ 11：00	ワークショップ神経内分泌	屋代隆	帝京平成大学健康メディカル学部
11：00 ～ 12：00	一般演題 神経内分泌	戸田修二	佐賀大学医学部病因病態科学
16：20 ～ 17：25	YIA 対象研究	藤原正親	杏林大学医学部病理学

第二日目 10月5日(土)

時刻	セッション	座長	所 属
〈第1会場〉			
9:10～10:00	一般演題 甲状腺・他	千葉知宏	杏林大学医学部病理学
10:00～11:20	ワークショップ甲状腺	中島正洋	長崎大学原研腫瘍・診断病理学
11:20～11:50	Update セミナー2	成瀬光栄	京都医療センター内分泌代謝・高血圧研究部
11:50～12:50	特別講演	加藤良平	伊藤病院病理診断科
〈第2会場〉			
9:10～10:10	ワークショップ下垂体	井下尚子	虎の門病院病理診断科
10:10～11:15	一般演題 間脳下垂体	西岡宏	虎の門病院脳下垂体外科

第23回日本臨床内分泌病理学会学術総会プログラム

10月4日(金) 第1会場(703~705)

10:00~10:10 開会式

会長：菅間 博(杏林大学医学部病理学)

10:10~11:00 一般演題 副腎

座長：中村保宏(東北医科薬科大学病理学)

A-1 副腎皮質3層および髓質の加齢性変化に関する検討

野中敬介¹⁾ ²⁾、相田順子³⁾、田久保海誉³⁾、山崎有人²⁾、小松明子¹⁾、高熊将一朗¹⁾、柿崎元恒¹⁾、井下尚子¹⁾、石渡俊行³⁾、鄭 子文⁴⁾、笹野公伸²⁾、新井冨生¹⁾

¹⁾東京都健康長寿医療センター 病理診断科、²⁾東北大学大学院・医学系研究科 病理診断学分野

³⁾東京都健康長寿医療センター研究所・老年病理学研究チーム、⁴⁾東京都保健医療公社豊島病院・検査科

A-2 副腎偶発腫として発見された正常血圧、非分泌型パラグングリオーマの一例

山本雄太郎¹⁾ ²⁾、方波見卓行²⁾、西根亜実¹⁾、勝岡由一³⁾、遠藤 陽⁴⁾、山崎有人⁵⁾、笹野公伸⁵⁾、田中 逸¹⁾

¹⁾聖マリアンナ医科大学 代謝・内分泌内科、²⁾同大学横浜市西部病院 代謝・内分泌内科、

³⁾同大学 腎・泌尿器外科、⁴⁾同大学 病理診断科、⁵⁾東北大学大学院医学研究科病理診断学分野

A-3 尿中カテコラミン軽度高値であったが、¹²³I-MIBGの集積を認めた散発性副腎髓質過形成の2症例

向井康祐¹⁾、小幡佳也¹⁾、吉田朋世¹⁾、高山理沙¹⁾、福原慎一郎²⁾、木内 寛²⁾、山崎有人³⁾、西澤 均¹⁾、前田法一¹⁾、野々村夫²⁾、笹野公伸³⁾、大月道夫¹⁾、下村伊一郎¹⁾

¹⁾大阪大学大学院医学系研究科 内分泌・代謝内科学、²⁾泌尿器科、

³⁾東北大学大学院医学系研究科 病理病態学講座 病理診断学

A-4 特発性アルドステロン症を合併したサブクリニカルクッシング症候群の1例

神澤真紀¹⁾、瀬尾あかね²⁾、福岡秀規²⁾、岡田佳輔³⁾、藤沢正人³⁾、青山弥生⁴⁾、中村保宏⁵⁾、高橋 裕⁶⁾、伊藤智雄¹⁾

¹⁾神戸大学医学部附属病院病理診断科、²⁾同、糖尿病内分泌内科、³⁾神戸大学大学院医学研究科腎泌尿器科学、

⁴⁾東北大学病院病理部、⁵⁾東北医科薬科大学医学部病理学教室、⁶⁾神戸大学大学院医学研究科糖尿病・内分泌内科学

11:00~12:00 ワークショップ 副腎

座長：笹野公伸(東北大学大学院医学系研究科 病理診断学)

W1-1 副腎皮質癌：診療のminimum requirementsと展望(内科医の立場から)

方波見卓行¹⁾、田中 逸²⁾

¹⁾聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 代謝・内分泌内科、

²⁾聖マリアンナ医科大学付属病院 代謝・内分泌内科

W1-2 副腎疾患の病理診断のminimum requirements (外科の立場から)

岡本高宏 東京女子医科大学 乳腺・内分泌外科

W1-3 副腎腫瘍の病理診断のminimum requirements

笹野公伸 東北大学大学院医学系研究科病理診断学

12:00～13:00 シンポジウム 遺伝子検査時代の内分泌疾患

座長：平野浩一(杏林大学医学部甲状腺外科学)

S-1 甲状腺のがんゲノム医療

千葉知宏(杏林大学医学部病理学)

S-2 先天性副腎低形成症における遺伝子変異

鳴海覚志(国立生育医療研究センター研究所分子内分泌研究部)

13:00～13:30 評議員会・総会

理事長：笹野公伸(東北大学大学院医学系研究科病理診断学分野)

13:30～13:50 佐野賞受賞講演

座長：菅間 博(杏林大学医学部病理学)

乳癌におけるアンドロゲン作用

鈴木 貴(東北大学大学院医学系研究科 病理検査学分野)

13:50～14:10 亀谷賞受賞講演

座長：松野 彰(帝京大学医学部脳神経外科学)

非内分泌臓器に発生する神経内分泌腫瘍とその病理学的検討

梶原 博(東海大学医学部基盤診療学系 病理診断学)

14:10～14:40 Updateセミナー 1

座長：近藤哲夫(山梨大学医学部人体病理学)

先天性甲状腺機能低下症の新規原因遺伝子SLC26A7の機能を解明

石井 順(獨協医科大学医学部病理学)

鈴木敦詞(名古屋市立大学医学部小児科)

14:40～16:20 CPC (臨床・病理症例検討会)

座長：田辺晶代(国立国際医療研究センター病院 糖尿病内分泌代謝科)

槇田紀子(東京大学医学部附属病院腎臓・内分泌内科)

1. 下垂体

臨床：山下美保(浜松医科大学国際化推進センター)

病理：井下尚子(虎の門病院病理診断科)

2. 甲状腺

臨床：岡本高広(東京女子医科大学乳腺・内分泌外科)

病理：日野るみ(大東文化大学スポーツ・健康学部)

3. 副腎疾患

臨床：立木美香(国立病院機構京都医療センター内分泌・代謝内科)

病理：山崎有人(東北大学医学系研究科病理診断学)

17:30～18:30 YIPA表彰式・会員懇親会

10月4日(金) 第2会場(701)

10:10～11:00 ワークショップ神経内分泌

座長：屋代 隆(帝京平成大学健康メディカル学部)

W2-1 分子病理学から見た神経内分泌腫瘍の組織発生

矢澤卓也(獨協医科大学医学部病理学)

W2-2 呼吸器の成り立ちと肺神経内分泌細胞の起源

森本 充(理化学研究所生命機能科学研究センター)

11:00～12:00 一般演題 神経内分泌

座長：戸田修二(佐賀大学医学部病因病態科学講座)

N-1 Neuroendocrine cells associated with endocrine mucin-producing sweat gland carcinoma--a potential precursor lesion?

川崎朋範^{1) 2) 3)}、久保田敏信²⁾、堀部敬三²⁾、永井宏和²⁾、菅野恵士¹⁾、鎌田孝一¹⁾、新井栄一¹⁾、猪爪隆史³⁾、近藤哲夫³⁾、加藤良平^{3) 4)}

¹⁾埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科、²⁾国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター、

³⁾山梨大学大学院総合研究部医学域、⁴⁾伊藤病院 病理診断科

N-2 当院における消化管NET-G1/G2症例からの治療後フォローアップの検討

奥村 圭¹⁾、小嶋基寛²⁾

¹⁾国立癌研究センター東病院消化管内視鏡科、²⁾同 病理診断科

N-3 当院におけるソマトスタチン受容体シンチグラフィーの使用経験

小林敬明、河合桐男、杉浦ちとせ、前園知宏、岡野尚弘、長島文夫、古瀬純司
杏林大学 腫瘍内科

N-4 主膵管拡張を伴ったセロトニン産生膵神経内分泌腫瘍の一例

大豆生田尚彦、森嶋 計、宮戸秀世、片野 匠、篠原翔一、兼田裕司、遠藤和洋、三木 厚、吉田 淳、
笹沼英紀、山口博紀、佐久間康成、川平 洋、堀江久永、細谷好則、味村俊樹、
北山丈二、佐田尚宏

自治医科大学 外科学講座 消化器一般移植外科

N-5 症状の改善と長期予後が得られた傍腫瘍性神経症候群を伴う小細胞肺癌の1例

新井信晃¹⁾、平野浩一¹⁾、三浦 隼¹⁾、渋谷幸見¹⁾、三ツ間智也¹⁾、吉田 勤¹⁾、中里陽子¹⁾、須田一晴¹⁾、
長島 鎮¹⁾、橘 啓盛¹⁾、田中良太¹⁾、宮 敏路¹⁾、近藤晴彦¹⁾、武井秀史²⁾、藤原正親³⁾、菅間 博³⁾、
柴原純二³⁾、中島昌典⁴⁾、内堀 歩⁴⁾、千葉厚郎⁴⁾

¹⁾杏林大学医学部附属病院 外科(呼吸器・甲状腺)

²⁾昭和大学病院 呼吸器外科

³⁾杏林大学医学部 病理学教室

⁴⁾杏林大学医学部附属病院 神経内科

16:20～17:25 YIA対象研究

座長：藤原正親(杏林大学医学部病理学)

Y-1 原発性アルドステロン症(PA)におけるアルドステロンの可視化の試み

元村直樹^{1) 2)}、山崎有人¹⁾、Gao Xin¹⁾、手塚雄太^{3) 4)}、尾股 慧^{3) 4)}、小野美澄^{3) 4)}、森本 玲⁴⁾、
佐藤文俊^{3) 4)}、笹野公伸¹⁾

¹⁾東北大学大学院医学系研究科 病理診断学分野

²⁾東北大学薬学部創薬科学科

³⁾東北大学大学院医学系研究科 難治性高血圧・内分泌代謝疾患地域連携寄付講座

⁴⁾東北大学病院 腎高血圧内分泌科

Y-2 原発性アルドステロン症における腎病変の病理組織学的検討

尾形博子¹⁾、手塚雄太²⁾、山崎有人¹⁾、尾股 慧²⁾、小野美澄²⁾、森本 玲²⁾、佐藤 博²⁾、宮崎真理子²⁾、城謙 輔³⁾、中村保宏⁴⁾、伊藤明宏⁵⁾、荒井陽一⁵⁾、伊藤貞嘉²⁾、佐藤文俊⁶⁾、笹野公伸¹⁾

¹⁾東北大学大学院病理診断学分野、²⁾東北大学病院腎高血圧内分泌科

³⁾慈恵医科大学病理学講座、⁴⁾東北医科薬科大学病理学教室、⁵⁾東北大学病院泌尿器科

⁶⁾東北大学大学院難治性高血圧・内分泌代謝疾患地域連携寄附講座

Y-3 副腎皮質癌における新規遺伝子変異STAG2の同定と鉄依存性細胞死Ferroptosisを介した役割

志賀明菜¹⁾、鈴木佐和子¹⁾、類家裕太郎¹⁾、内藤久美子¹⁾、石渡一樹¹⁾、石田晶子¹⁾、出口ハンナ¹⁾、藤本真徳¹⁾、田村 愛¹⁾、小出尚史¹⁾、田中知明²⁾、横手幸太郎¹⁾

¹⁾千葉大学大学院 医学研究院 内分泌代謝・血液・老年内科学

²⁾千葉大学大学院 分子病態解析学

Y-4 頸部リンパ節の異所性甲状腺組織と濾胞型乳頭癌転移との鑑別にDNA損傷応答分子53BP1の発現解析は有用である

大坪智恵子¹⁾、Zhanna Mussazhanova¹⁾、黒濱大和¹⁾、Luong Thy My Hanh¹⁾、松田勝也¹⁾、佐藤伸也²⁾、山下弘幸²⁾、中島正洋¹⁾

¹⁾長崎大学原爆後障害医療研究所 腫瘍・診断病理学研究分野(原研病理)

²⁾医療法人福甲介 やました甲状腺病院

Y-5 再発甲状腺癌を用いた未分化癌転化分子機構および転化リスクの解析

大舘 徹¹⁾、大石直輝¹⁾、望月邦夫¹⁾、川井将敬¹⁾、加藤良平²⁾、近藤哲夫¹⁾

¹⁾山梨・医・人体病理、²⁾伊藤病院・病理

10月5日(土) 第1会場(703~705)

9:10~10:00 一般演題 甲状腺・他

座長：千葉知宏(杏林大学医学部病理学)

T-1 甲状腺濾胞性腫瘍におけるTERTプロモーター領域の点突然変異とrSNPの検討

廣川達也、有益 優、千葉知宏、藤原正親、菅間 博

杏林大学病理学教室

T-2 Well differentiated carcinoma, NOSの組織像を示した縦隔内甲状腺腫の一例

中里陽子¹⁾、平野浩一¹⁾、三ツ間智也¹⁾、廣川達也²⁾、大森嘉彦²⁾、千葉知宏²⁾、藤原正親²⁾、菅間 博²⁾

¹⁾杏林大学医学部外科学教室(呼吸器・甲状腺)、²⁾病理学教室

T-3 I-123シンチグラフィで集積を認めた甲状腺髄様癌の1例

有安宏之、竹島 健、岩倉 浩、古川安志、割栢健史、村田晋一、赤水尚史

和歌山県立医科大学 内科学第一講座、和歌山県立医科大学 病理診断科

T-4 腎細胞癌における脂肪組織と物理学的微小環境(流体刺激)の役割とその制御機構

永瀬 圭^{1) 2)}、青木茂久¹⁾、力武美保子¹⁾、有働和馬²⁾、東武昇平²⁾、野口 満²⁾、戸田修二¹⁾

¹⁾佐賀大学大学院医学研究科病因病態科学講座 臨床病態病理学

²⁾佐賀大学医学部泌尿器科学講座

10:00~11:20 ワークショップ甲状腺

座長：中島正洋(長崎大学原爆後障害医療研究所 腫瘍・診断病理学研究分野)

W3-1 経験豊富で酸いも甘いも分かっているベテランの先生から

「甲状腺腫瘍病理から見た病理形態学の迷路」

覚道健一(近畿大学医学部 奈良病院)

W3-2 甲状腺病理を志そうとする若手病理医から

黒濱大和(長崎大学原研)

W3-3 基礎研究者の観点から

「甲状腺乳頭癌の幅広い悪性度と関連する遺伝子異常」

光武範吏(長崎大学原研)

W3-4 臨床的な観点から甲状腺病理の面白みや期待、疑問について

「臨床医と病理医のより良きコミュニケーションのために——甲状腺専門病院での経験から——」

佐藤伸也(やました甲状腺病院)

11:20~11:50 updateセミナー2

座長：成瀬光栄(京都医療センター内分泌代謝・高血圧研究部)

「アクティブゾーンタンパク質のインスリン極性分泌における役割」

今泉美佳(杏林大学医学部細胞生化学)

11:50~12:50 特別講演

座長：加藤良平(伊藤病院)

「動物の性のここがオモシロい〜僕が昆虫の交尾器から学んだこと〜」(イグ・ノーベル賞2017年)

上村佳孝(慶應義塾大学商学部生物学教室)

12:50～13:00 研究賞表彰式・閉会式

13:00 河村 孝 三鷹市長挨拶

10月5日(土) 第2会場(701)

9:10~10:10 ワークショップ下垂体

座長：井下尚子(虎の門病院病理診断科)

W4-1 ES/iPS細胞を用いた視床下部・下垂体再生医療と病理への展開

須賀英隆(名古屋大学大学院医学系研究科糖尿病・内分泌内科学)

W4-2 下垂体とテロメア

相田順子(東京都健康長寿医療センター研究所老年病理学研究チーム)

10:10~11:15 一般演題間脳下垂体

座長：西岡 宏(虎の門病院 間脳下垂体外科)

P-1 非機能性下垂体腺腫における腫瘍再発・増大に関する病理学的検討

小林伸行¹⁾ ⁴⁾、岡田満夫¹⁾、福原紀章¹⁾、西岡 宏¹⁾、井下尚子²⁾、山田正三³⁾

¹⁾虎の門病院間脳下垂体外科、²⁾東京都健康長寿医療センター病理診断科、

³⁾森山脳神経センター病院間脳下垂体センター、⁴⁾とちぎメディカルセンターしもつが脳神経外科

P-2 PRL分泌の乏しいPRL産生下垂体腺腫と通常のPRL産生下垂体腺腫の病理像の比較

福原紀章¹⁾ ²⁾ ³⁾、井下尚子¹⁾ ²⁾ ³⁾ ⁴⁾、福原宏和¹⁾、岡田満夫¹⁾、辰島啓太⁵⁾、竹下 章⁵⁾、伊藤純子⁶⁾、竹内靖博⁵⁾、西岡 宏¹⁾

¹⁾虎の門病院 間脳下垂体外科

²⁾東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科包括病理学分野

³⁾冲中成人病研究所、⁴⁾東京都健康長寿医療センター 病理診断科

⁵⁾虎の門病院 内分泌代謝科、⁶⁾虎の門病院 小児科

P-3 病理組織学的にaggressiveな所見を呈したプロラクチン産生下垂体腺腫の2症例

黒崎雅道¹⁾、長尾裕一郎¹⁾、神部敦司¹⁾、坂本 誠¹⁾、桑本聡史²⁾、牧嶋かれん²⁾、梅北善久²⁾

¹⁾鳥取大学医学部脳神経外科、²⁾同 病理学分野

P-4 GH/TSH産生purihormonal pituitary adenomaの1例

柴山 惟¹⁾ ²⁾、和田典男¹⁾、馬場周平¹⁾、小原慎司¹⁾、亀田 啓²⁾、中村昭伸²⁾、山崎有人³⁾、笹野公伸³⁾、渥美達也²⁾

¹⁾市立札幌病院 糖尿病・内分泌内科、²⁾北海道大学大学院医学院・医学研究院 免疫・代謝内科学教室、

³⁾東北大学大学院医学系研究科病理病態学講座 病理診断学分野

P-5 嚢胞変性を伴い、術前ソマトスタチンアナログ投与を行ったGH産生下垂体腺腫症例の病理像

盛田幸司¹⁾、江戸直樹¹⁾、大山健一²⁾、宇野健司¹⁾、眞弓大輝¹⁾、石渡千聖¹⁾、鈴木崇史¹⁾、

佐山遥平¹⁾、中島利菜¹⁾、坂本美貴¹⁾、男澤悠貴¹⁾、内野卓也¹⁾、井野元智恵³⁾、近藤福雄⁴⁾、寺本 明⁵⁾、長村義之⁶⁾、松野 彰²⁾、塚本和久¹⁾、石川敏夫¹⁾

¹⁾帝京大学医学部 内分泌代謝・糖尿病内科

²⁾帝京大学医学部 脳神経外科 下垂体・内視鏡手術センター

³⁾東海大学医学部 病理診断科、⁴⁾帝京大学医学部 病理診断科

⁵⁾湘南医療大学、⁶⁾日本鋼管病院 病理診断科